

第 1 回堺市北区政策会議（書面開催）意見抜粋

1 意見聴取テーマ 1 子どもの生きる力を育む支援について

■幼少期から学齢期にかけて子どもが身につけるべきことはどのようなものでしょうか。

【主なご意見の要約】

- 家庭や集団生活の中で相手が喜ぶこと、嫌がることを肌で感じながら学び、覚えていくこと。
- マナー、社会でのルールを身につけるべき。遊びを通して、他の子どもや大人と接することで、コミュニケーションの取り方や約束を守ること、思いやる気持ちを育むことが大切。
- 子ども同士の喧嘩に親などがすぐ仲裁に入らず、子ども同士で解決させることで、仲裁能力、問題解決能力を養い、お互いの言い分を聞き、問題点を考え、解決策を見出していく力を身につけることができる。
- 主体性、協調性、道徳性や思考力・判断力（自分で考え、判断する力）や表現力（自尊感情を持った自己表現力、コミュニケーション能力）を身につけるべき。
- 自分のことは自分でできるということが子どもの自信につながり、その自信を土台に様々なことへの興味・好奇心を広げられるのではないか。
- 子どもが自ら興味や関心を持ち、五感を使って遊び、経験すること。経験したことは確かなものとなり、もっと知りたい、もっと遊びたい、という知識や行動、学習への意欲につながる。

■「子どもの生きる力の育成」に関して家庭や地域でできることはどのようなことでしょうか。

【主なご意見の要約】

（家庭面）

- 家庭での親の態度が子どもを育てるので、言葉だけではなく、親自身が、真似をされても大丈夫な行動をとることが大切。
- 家庭では、コミュニケーションしやすい雰囲気を作る。子どもはよく大人の様子を見ている。
- 家の外で何があっても、見守ってくれる家族がいる。安心できる場所があることが大事。
- 子どもとの愛着関係（愛され、大切にされていると感じる関係）をしっかりと築くことが、あらゆることの基盤のひとつとして大切。“愛着”の形成が安心や情緒の安定に繋がる。

（地域面）

- 子育てはコミュニティ全体で行うという意識の醸成が必要。子どものための家庭以外の居場所作りなどの「共助」を地域全体で考え、強化していく必要がある。
- 親の考え方に偏ってしまわないように、地域で家族以外の大人の知人を作ることが大切と思う。子ども食堂、地域活動、小・中学校とも連携がとれるとベスト。
- 地域では、子どもが安心して遊べる場所の提供や地域の多世代の人と触れ合う機会を作り社会性を養う。
- 年齢の違う子どもたちや大人、お年寄りなど様々な人と交流する場があることが重要だと思う。地域での様々な人との出会いから多様な見方や考え方を自分に取り入れる力につながる。

2 意見聴取テーマ2 孤立を防ぐ子育て世帯間や地域とのつながりについて

■子育て世帯が求めている子育て世帯同士や地域とのつながりとはどのようなものでしょうか

【主なご意見の要約】

- 困ったときに気軽に頼れる人が地域に一人でも多く、見つけられるようになればよい。
- ゆるっと入れて親子で楽しめる場所があればよいと思う。必ず行かなければならないとなると負担になるが、外に出ようと思った時に行ける場所があると助かる。
- 気軽に助けてほしいと声をあげられる関係。子育てを助けてもらってとにかく息抜きがしたい。
- 出産や子育てを考える時に、身近に相談できる相手がいないことや、地域にどのような子育て支援のサービスがあるかがわからないことがあるかも知れない。
- 気軽に話せる居場所、情報交換の場。経験がない中での子育て、核家族化による母親への育児負担などの子育て背景がある。気軽に話せる相手や温かい見守り、居場所を求めている。
- 子育て世帯同士のつながりについては、子育てに関する情報や知識の交流ができること、子育ての心配や迷い、悩みなどを話せる人や友だちとつながる場を求めている。
- 子どもが安心して遊べ、保護者がほっとできる場や時間が保障されることが必要である。子育てひろばや子育てサークル、園庭開放などが、大きな役割を担っている。

■コロナ禍でも子育て世帯同士や地域でのつながりを持ち続けるため、新たなアイデアとしてはどのようなことが考えられるでしょうか。

【主なご意見の要約】

- ネットを活用し、校区内各町会の会館に分散して少人数で集まるなど工夫しなければならない。
- 子育て世帯同士で利用されている LINE を活用した相談コーナーを設ける。
- 親子の農業体験、公園の自然を使ったモノづくり体験教室など、地域の市民活動団体やボランティア団体と連携したイベントを企画する。
- ZOOM 等を用いたオンラインのテーマ別交流会があれば家にいながら地域の人と交流できる。
- SNS でつながる、ZOOM 等で顔を見て話せるなど、対面でなくとも交流可能な時代になっている。個別の趣味や悩み別にコミュニティがあれば、入っていきやすい。
- 保育士や幼稚園教諭を目指す学生との関わりを作る。
- オンラインや SNS でもつながることはできますが、対面でのコミュニケーションが一番。
- 行政や地域のサイトに「子育てコーナー」を設け、悩みや意見、出来事などを自由に書き込んでもらい、意見交換の場とすることもよい。
- 子育てひろばを小・中学校に出張しての実施や学校体育館で子育てサークルのイベントを実施するなど、子育て世帯のつながりの場を、地域を巻き込んで広げていけばよい。
- SNS や LINE、オンライン相談、リモート交流会などのデジタルを活用した情報発信やつながりのツールの活用を進め定着していくことが重要。
- SNS の活用は、特に直接会おう機会を持ってない人や持ちにくい人に、選択肢として提供できれば、新たなつながりを生むきっかけになる。